

① 提案（テーマ） 熊本地震支援バザー ～私たちにできること～	② 学校・グループ名 伊賀市立城東中学校・城東の集い
	③ 名前
	（空欄）

④ 提案の理由

4月に熊本で震度7を記録する大地震が発生しました。テレビニュースなどで家が壊れたり、危険なため、避難所や車で生活するしかない人たちをたくさん見ました。精神的に不安定になっている子どもたちもたくさんいると聞きました。そこで、何か私たちにできることはないかと、何か役に立てることはないかと考え、支援バザーを計画しました。

⑤ 取組内容

城東中学校では、毎月第1月曜日に『城東の集い』を開催しています。これまで『城東の集い』では、人権に関わることや仲間のことなどについて、参加したい生徒が集まって話し合い活動中心に行ってきました。しかし、なかなか参加する仲間が増えていかないなどの課題も抱えていました。今年最初の実行委員会を開催したとき、熊本での大地震に対する報道を見聞きするなかで、何かできないかと相談した結果、支援バザーを開催してみることに決めました。



これまで城東中学校では、学校運営協議会の方々がバザーを毎年開催してくれていました。そのノウハウをいかしながら今年は私たちが挑戦しました。

まず、私たちとともに協力してくれる仲間を募りました。全校集会の場や各学級をまわって、活動の趣旨を伝えていきました。3年生を中心に1年生や2年生からも協力してくれるスタッフがたくさん集まりました。



次に、バザーの商品を集めました。自分たちでチラシやポスターをつかって、学校全体に呼びかけたり、チラシを使って保護者の方にも協力を依頼しました。また、地域の回覧板を使って、校区全体にも呼びかけを行いました。最初は、どれくらい集まるのか不安でした。実際、最初の方は全然ものが集まらず悩んでいました。そこでスタッフがみんなに声をかけたり、保護者にも協力を呼びかけたりしました。その結果、生徒や保護者だけでなく、回覧板を見た地域の方々からもたくさんの商品を集めることができました。また、それだけでなく自分たち自身でも、ミサン



ガやマカロンなどの手作り商品もたくさん作りました。夏休みにも集まれるスタッフが集まり、商品作りに精を出しました。先生方も協力してフラワーアレンジを作

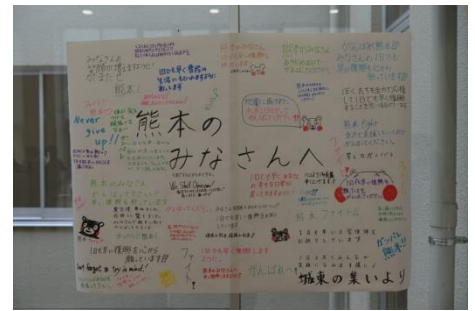


ってくれたり、地区学習会でもポプリやキーホルダーを作ってくれたりして、本当にたくさんの商品が集まりました。さらに次に、当日たくさんの方に集まってもらうために、当日用のチラシやポスターを作成しました。学校全体にチラシを配り、

生徒・保護者への参加をお願いしたのはもちろん、地域の回覧板でも再度、参加のお願いをしました。また、校区内の小学校や保育園、市民センターなどのその他の公共施設、病院や商店にも私たちが分担してお願いに回り、ポスターを貼ってもらったりチラシを置いてもらったりしました。バザーは、吹奏楽部の定期演奏会の日に設定したため、吹奏楽部の仲間もポスターやチラシ配りに協力してくれました。そして、前日までに、集まった商品に値札をつけ、案内板や釣銭、商品を入れる袋などの準備を整えました。

当日は、朝からスタッフが集まり、商品を並べるなど会場の準備を行いました。12時からの開始にもかかわらず、早くからたくさんの方々が来てくれました。本校の生徒や保護者、地域の方々、吹奏楽部の定期演奏会に参加してくれた高校生など多くの方々が、協力をしてくれました。そのおかげで商品もほとんど売れ、バザーは大成功でした。また、当日「熊本の方々への応援メッセージ」コーナーも作り、来ていただいた方々に書いていただきました。

これから、バザーで得たお金とみなさんに書いていただいた応援メッセージを熊本の南阿蘇中学校に届ける準備を今行っています。届けて終わりではなく、できれば今後も交流を続けていきたいと考えています。熊本では、大地震に加えて、集中豪雨、そして最近では阿蘇山の噴火など災害が続いています。今後も、私たちにできることを考え、実行に移していきたいと思います。



⑥ 取組の成果（期待される効果）

このバザーを自分たちの力でやったことで、自分たちにもできることはある、自分たちでもできるという自信につながりました。些細なことでも、誰かの助けになれるということを全員が実感できました。また、一人でできることは限られているけれど、仲間の力が集まれば大きなパワーになることも実感できました。今回の経験で、考えているだけではなく一歩踏み出し行動することの大切さを学ぶことができました。そして、このことを学校生活のなかでもいかし、いろんなことを真剣に考えることができるようになりました。考えることから、実際に行動することができるようになったと思います。今後、もっともっと学校生活をみんなにとって過ごしやすいものにできるよう考え、実行していきたいです。